



セミオートエスプレッソマシン

F18

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

目次

安全上のご注意.....	3
付属品と設置について.....	6
準備.....	8
操作方法.....	10
抽出条件等の設定方法(プログラム).....	16
クリーニング.....	24
トラブルシューティング.....	22
保証とアフターサービスについて.....	29

お客様へ

この度は、当社のコーヒーマシン「F18」をご購入いただき、誠にありがとうございます。マシンを安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前にこのマニュアルをお読みになり、内容を十分ご理解ください。このマニュアルは安全な場所に保管して、必要な時に見ることができる状態にしておいてください。このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です。必ずお読みください。)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品(電源コードやプラグを含む)の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。
(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。

- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンタ上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをオフにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用しないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置および据付時の注意事項

本製品は、使用および保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門サービスセンターが行い、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしったりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。



注意

- 設置および据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚濁、変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は 10～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には 0.5 メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、スケール抑制出来る浄軟水器の設置をお奨めします。スケール詰まりを軽減させるため軟水装置(浄軟水器)を取り付けることをお奨めします。
- 浄軟水フィルターは定期的に交換してください。

操作を行なう時の注意事項



警告

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの位置に注意をしてください。離れすぎている場合、飛沫やスチームが周辺に飛び、火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないでください。感電の危険性があります。
- ミルクシステムの洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくともミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。



注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- 機器にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンスおよび安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内外に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。
- 機器の清掃には、アルコールなどの薬品は使用しないでください。

注釈について

- 使用するときにご注意して頂きたい内容の説明です
- 使用上のアドバイスや知っておくと便利なことを説明しています。

注意

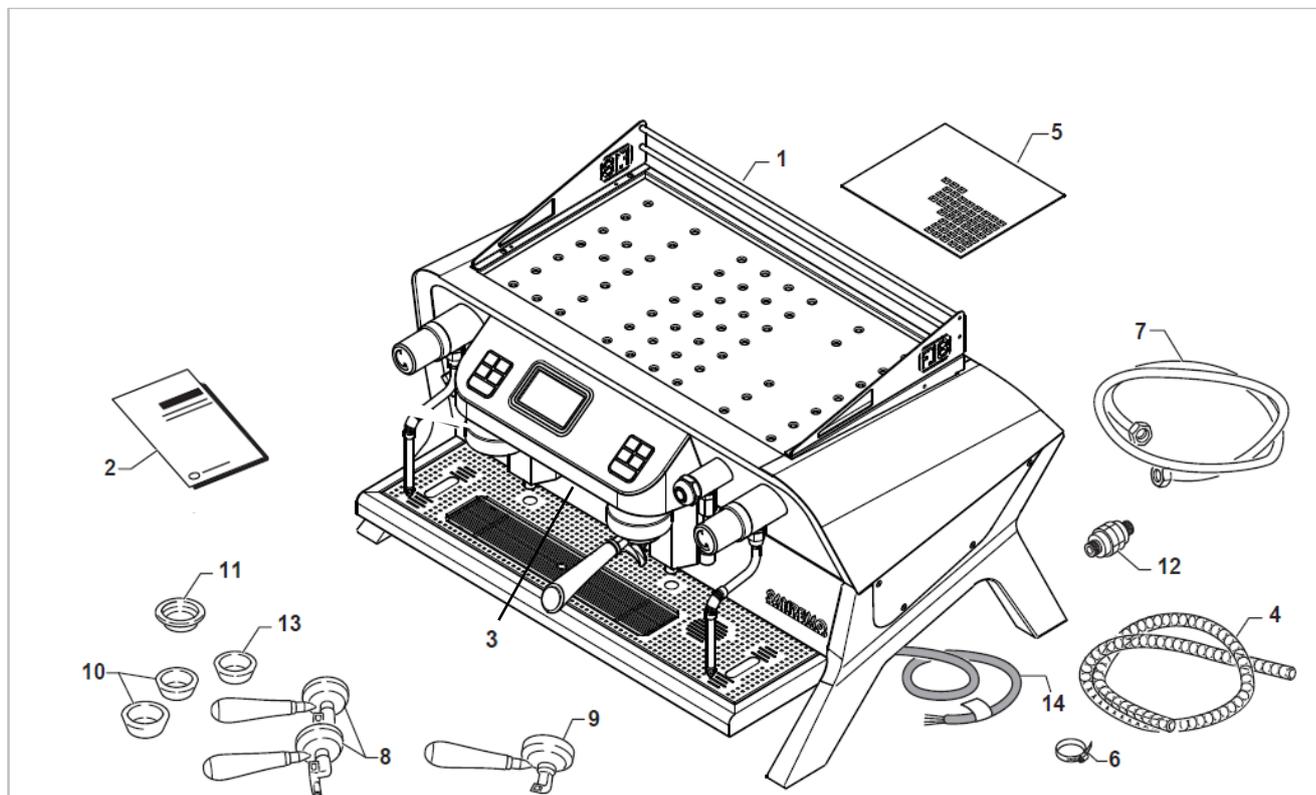
参考

主な仕様

寸法	幅 901mm×奥行 647mm×高さ 505mm
定格電圧	三相/単相 AC200V 50/60Hz
定格消費電力	三相:4000W / 単相:3900W
重量	97kg
使用環境温度	5～35℃
保管環境温度	-10～60℃
電源コードの長さ	約 1.8m
ボイラー容量	スチームボイラー 8.0ℓ、グループボイラー 1.0ℓ
ボイラー圧力	0.08MPa～0.15MPa
最大許容静水圧	0.5MPa
コーヒー抽出圧力	0.8MPa～1.2MPa

付属品と設置について

1. 付属品名称



- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1) エスプレッソマシン | 8) 2 杯用フィルターホルダー(2 個) |
| 2) 取扱説明書 | 9) 1 杯用フィルターホルダー |
| 3) 定格銘板 | 10) 2 杯用フィルター(2 個) |
| 4) 排水ホース 長さ = 2 m | 11) 1 杯用フィルター |
| 5) カップウォーマーグリッド | 12) フィルターストレーナー |
| 6) ホースクリップ | 13) ブラインドフィルター |
| 7) 給水ホース | 14) 電源ケーブル |

2. 設置

本体は安定した水平な場所に設置してください。

本体周辺は換気の為10cm以上のスペースを空けてください。

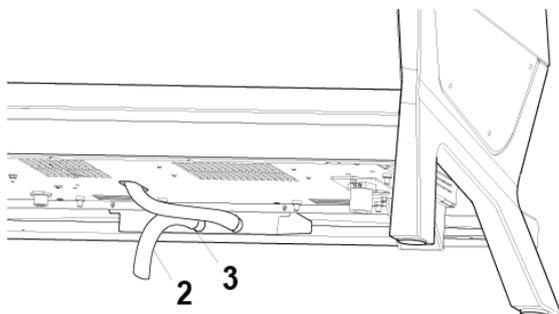
本体は約100kgあるため、運搬設置は4人以上で安全に配慮しながら行ってください。

本体変形を避けるため、フレームまたは脚をもって移動させてください。

・ドレイン

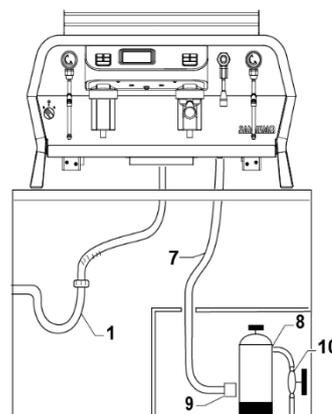
排水用のドレインは、少なくとも本体の底面より20cm以上離してください。

排水ホース(2)の端を排水トレイのカップリング(3)に接続し、ホースクリップで固定します。排水ホース(2)の反対側の端をあらかじめ用意しておいた排水管に接続します。



・給水(内臓ポンプタイプ)

給水ホース(7)を浄軟水器(8)に接続します。本体と浄軟水器間に付属の浄水フィルタ(9)をとりつけます。水道管とマシンを分離出来るよう、止水弁(10)を取り付けます。



・給水に関する注意

供給する水はクリーンなものをお使いください。必要に応じ、フィルターを使用してください。

水の無い状態では動作させないでください。ポンプ故障の原因になります。

水圧は 0.5MPa を超えないようにしてください。0.5MPa を超える場合、減圧弁の装着をお願いします。

また、水の供給量が少なすぎると正しく動作しない場合があります。

給水を主給水管に直接接続して行う場合はホースセットの交換は出来ません。

・電源接続

電源およびアースを正しく接続してください。本機は単相 200V の接続が必要です。

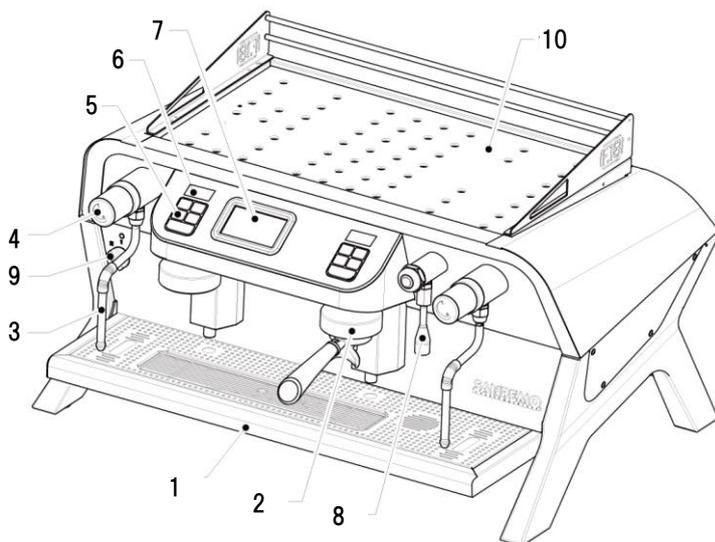
安全のため、アースは必ず接続してください。

また、電源回路には漏電ブレーカーを入れてください。



準備

1.各部の名称



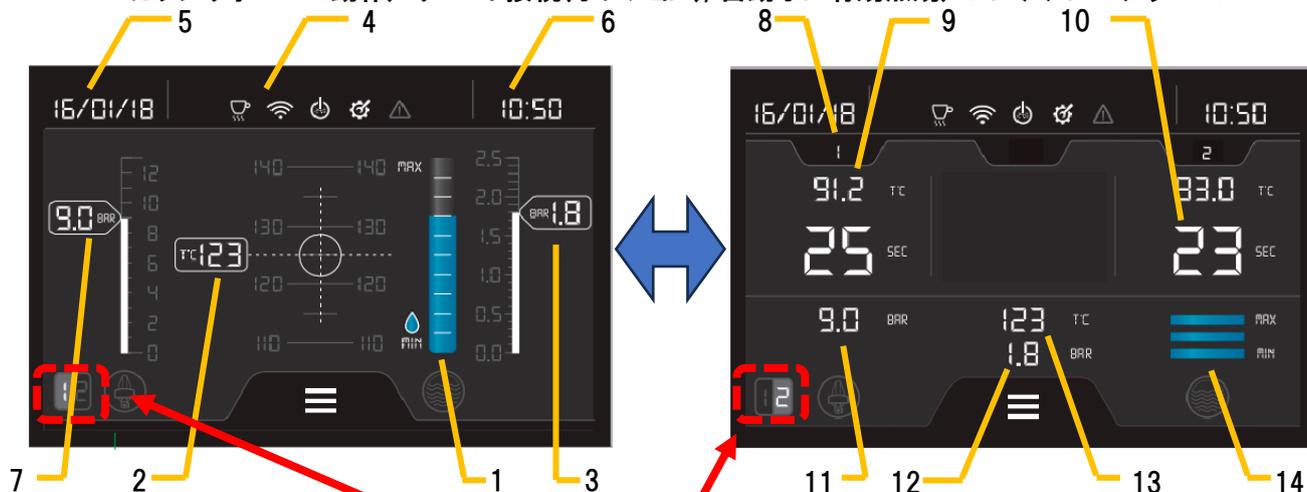
- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. トレイ | 7. タッチスクリーンディスプレイ |
| 2. フィルターホルダーとグループヘッド | 8. 給湯ノズル |
| 3. スチームノズル | 9. 主電源スイッチ(2段階式) |
| 4. スチームノブ | 10. カップウォーマー |
| 5. グループ抽出ボタン | |
| 6. グループディスプレイ | |

<ホーム画面表示>

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. ボイラー水位 | 8. グループ番号 |
| 2. スチームボイラー温度 | 9. グループボイラー温度 |
| 3. スチームボイラー圧力(Bar 表記) | 10. 抽出時間(秒) |
| 4. 動作状態/アラーム(※) | 11. 抽出ポンプ圧力 |
| 5. 日付表示(日/月/年で表示) | 12. ボイラー圧力 |
| 6. 時刻表示 | 13. サービスボイラー温度 |
| 7. 抽出ポンプ圧力 | 14. ボイラー水位(前のページと同じ) |

※状態/アラーム表示(左から)

カップウォーマー動作/リモート接続(オプション)/自動オン有効無効/メンテナンスアラーム



ここをタッチすることで画面が入れ替わります。

2. 事前確認(動作確認)

初めて動作させるときは以下の手順で立ち上げてください。

・給水栓の蛇口を開け、ノブ(1)を反時計回りに回し、スチーム栓を開きます

・マシンの電源を接続し、電源スイッチ(2)を「1」の位置に回すと、表示灯(3)が点灯し動作状態を示します。ディスプレイ(4)のポイラー水位が点滅し、給水を開始します。自動給水が90秒以内に始まらない時は、マシンが停止し、パネル上に  が表示されます。給水弁が開いている事を確認し、マシンの電源を再度投入し、ポイラーへの給水を行ってください。

・ディスプレイ(4)のポイラー水位表示の点滅が止まると、ポンプが停止します。電源スイッチ(2)を「2」の位置に回し、マシンが温まるのを待ちます。

・スチームノズルから蒸気が出てきたら、先ほど開けておいたスチーム栓を閉じます。

・フィルターホルダーを取り付けずに、左右両側のフロントボタンパネルのボタン(5)、(6)、(7)、(8)、(9)を押してグループヘッドから水を出します。水が正常に出ることを確認し、回路内の気泡を排出してください。

・もう一度同じボタンを押して抽出を止めます。

・各設定温度(スチーム:122°C、コーヒー用の熱湯:93°C)に達するのを待ちます。各温度はディスプレイ(4)と(12)にそれぞれ表示されます。ディスプレイ(4)で、ポイラー圧力が約1~1.2バール(0.1~0.12MPa)であること、またポンプ圧が抽出していない状態で6バール(0.6MPa)を超えていないことを確認してください。

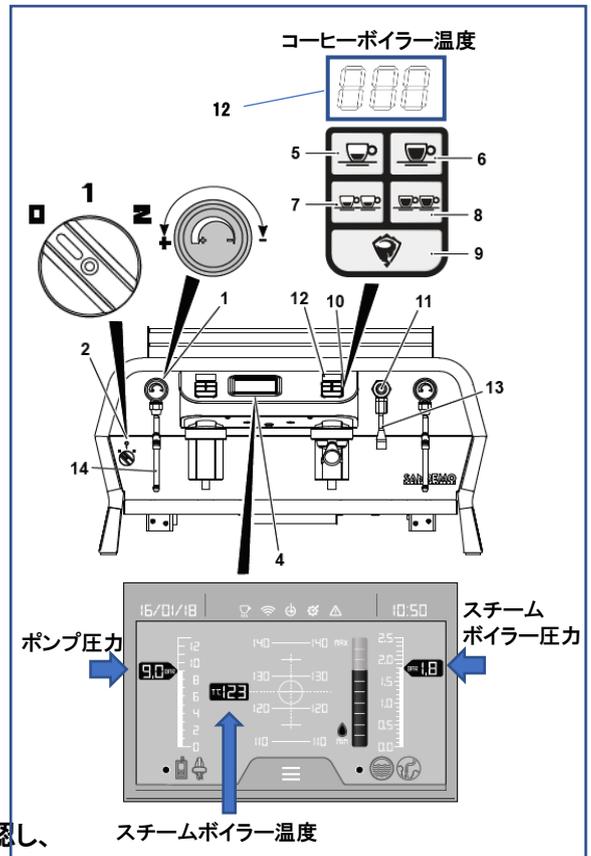
・ピッチャーをディスペンサー(13)の下に置き、ボタン(11)を押してお湯を抽出します。正しくお湯が出ることを確認してください。プログラムの設定量に達すると、お湯は自動的に止まります。

・ピッチャーを置き、ノズル(14)をピッチャーの中に入れます。ノブ(1)を回してスチーム栓を開き、水を温めてみます。

・フィルターホルダー(9)をグループヘッドに取り付け、下にカップを置きます。ボタン(10)で3つの設定を有効にし、抽出を数回行います。お湯がカップに出てくることを確認してください。

・抽出中にディスプレイ(4)に表示されるポンプ圧力が約9バールであることを確認してください。-

・マシンを停止するときは、電源スイッチ(2)を「0」位置に回してマシンの電源を切ります。表示灯(3)とディスプレイが消灯します。最後に給水栓を閉めてください。



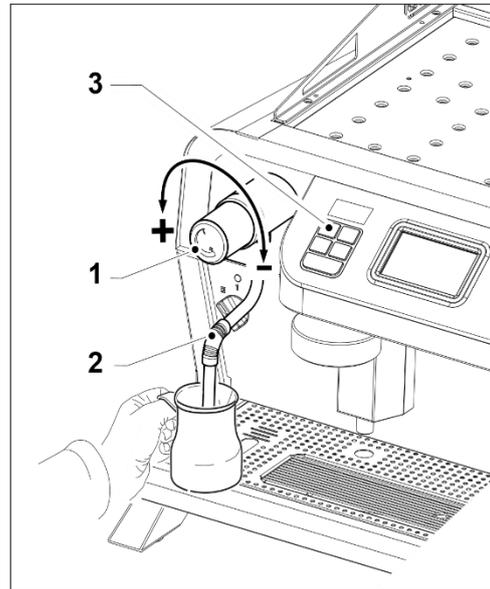
操作方法

動作確認の手順で電源を入れ、マシンを使用する準備をしてください。

1. スチームノブの操作

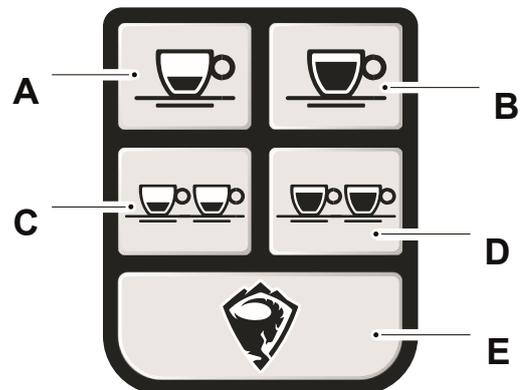
スチームノブ (1) ノブを反時計回りに回すと、スチームノズル (2) からスチームが抽出されます。スチームを止めるには、ノブを時計回りに回してスチーム栓を閉じます。

注意 スチームは高温なのでやけどにご注意下さい。



2. グループ抽出ボタンの説明

- A. エスプレッソコーヒーボタン
- B. ロングコーヒーボタン
- C. エスプレッソコーヒー2杯分ボタン
- D. ロングコーヒー2杯分ボタン
- E. 連続抽出/グループのプログラミングボタン



左右のグループに対して、それぞれ操作が出来ます。



3. コーヒー抽出



エスプレッソコーヒーボタン (A)

1 杯用フィルターホルダーの下にカップを置き、ボタンを押してコーヒーの抽出を開始します。抽出中は選択したボタンが点灯します。他のボタンは点灯しません。抽出が終わると、全てのボタンが点灯します。



ロングコーヒーボタン (B)

1 杯用フィルターホルダーの下にカップを置き、ボタンを押してロングブラックコーヒーの抽出を開始します。抽出中は選択したボタンが点灯します。他のボタンは点灯しません。抽出が終わると、全てのボタンが点灯します。



エスプレッソコーヒー2 杯分ボタン (C)

2 杯用フィルターホルダーの下にカップを 2 個置き、ボタンを押して 2 杯分のエスプレッソコーヒーの抽出を開始します。抽出中は選択したボタンが点灯します。他のボタンは点灯しません。抽出が終わると、全てのボタンが点灯します。



ロングコーヒー2 杯分ボタン(D)

2 杯用フィルターホルダーの下にカップを 2 個置き、ボタンを押して 2 杯分のロングブラックコーヒーの抽出を開始します。抽出中は選択したボタンが点灯します。他のボタンは点灯しません。抽出が終わると、全てのボタンが点灯します。



連続抽出/グループのプログラミングボタン (E)

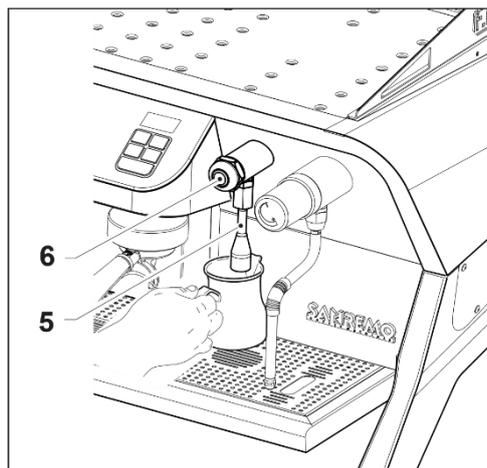
お好みのコーヒー量に適した大きさのカップをフィルターホルダーの下に置きます。ボタンを押してコーヒーの抽出を開始します。抽出中は選択したボタンが点灯します。他のボタンは点灯しません。お好みのコーヒー量に達したら、ボタンをもう一度押して抽出を止めます。抽出開始から 120 秒後には、抽出は自動的に止まります。

4. 給湯ノズル

必要な水量に適したサイズのカップを給湯ノズルの下に置きます。ボタン (6) を押すと、熱湯がノズル(5)から抽出されます。

設定時間になるまで熱湯は抽出され続けます。

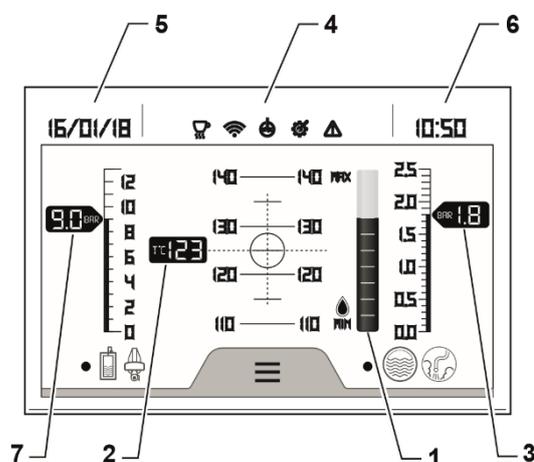
設定時間内でも、再度ボタン (6) を押すと抽出は停止します。



ディスプレイはタッチスクリーン式です。マシンの通常操作時は、右の画面が表示されています。プログラミング中に表示されるディスプレイ画面については、プログラミングの項目を参照してください。

画面には以下の情報が表示されます。

- 1) ボイラー水位
- 2) ボイラー温度
- 3) スチームボイラー圧力
- 4) 動作状態/アラーム:
 - カップウォーマー作動状態
 - リモート接続(オプション)
 - 自動オン機能有効
 - メンテナンスアラーム
 - 一般アラーム
- 5) 日付
- 6) 時計
- 7) ポンプ圧力



参考

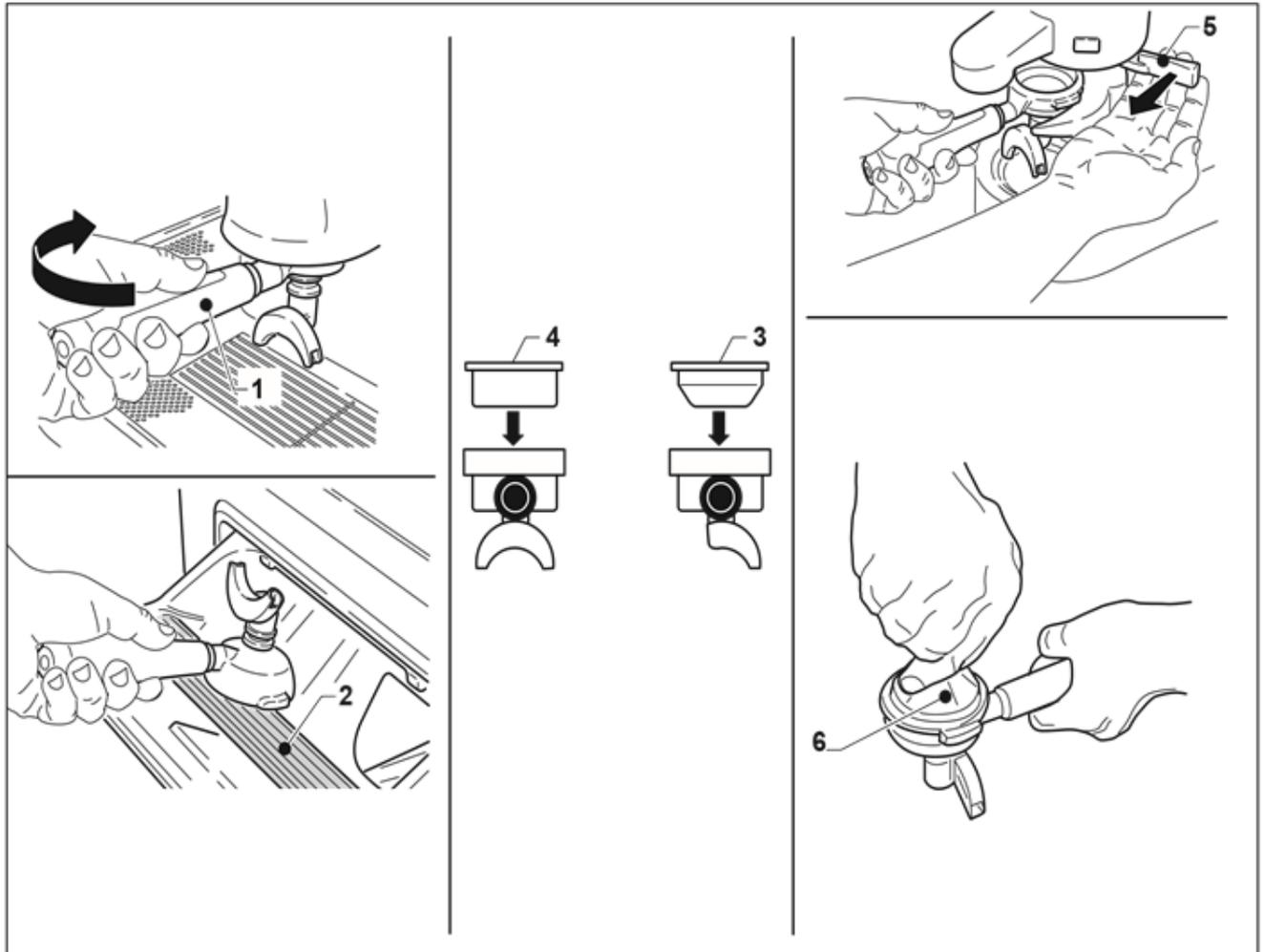
美味しいコーヒーを淹れるために

カップはカップウォーマーで温めたものを使用してください。カップが冷たい場合は熱湯等で温める事を推奨します。カップが冷たいと、エスプレッソの温度が急激に変化し、コーヒーの味にも影響します。

コーヒー粉は挽き置きをせず、抽出する直前に使う量だけ挽きご使用下さい。

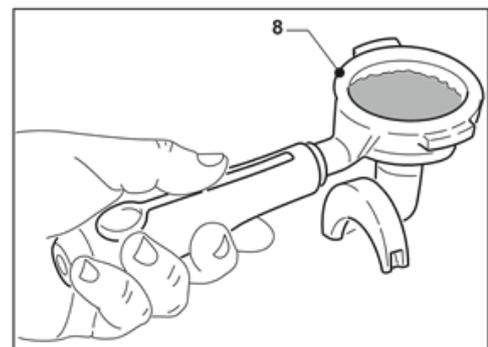
6. コーヒー抽出

- 1) フィルターホルダー (1) を矢印の方向に回してグループヘッドから外します。フィルターホルダーを逆さまにして、ノックボックス(2)に当てて使用済みコーヒー粉を全て取り除きます。
- 2) 必要に応じて、1杯用フィルター(3)または2杯用フィルター(4)を使用します。
- 3) フィルターホルダー(1)にお好みの量のコーヒー粉を入れます。
- 4) タンパー(6)でコーヒー粉を押し付けます。

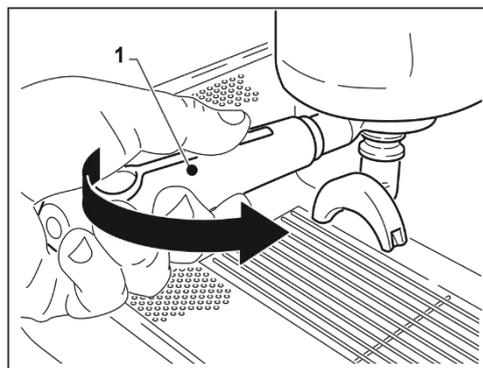


5) フィルターホルダーのエッジ(8)にかかった粉を綺麗に落としてください。

6) ボタン (E) を押してお湯を数秒から出しします。再度ボタン (E) を押して停止します。



7) フィルターホルダー (1) をグループヘッドに取り付け、止まるまで矢印の方向に回します。



8) コーヒーカップをフィルターホルダーの下に置き、抽出するコーヒータイプを選びます。押したボタンが点灯し、ディスプレイに抽出パラメータが表示されます。抽出後は、次の抽出までフィルターホルダーをグループヘッドに取り付けたままにしておいてください。

7. カプチーノを作る

1) ノズル (1) をグリルの上に引き出し、レバー (2) を動かして、1~2 秒間スチームノズル内の水分を排出します。

2) ミルクをピッチャーに注ぎます。円錐形の注ぎ口が付いたステンレス製ピッチャーを使用してください。

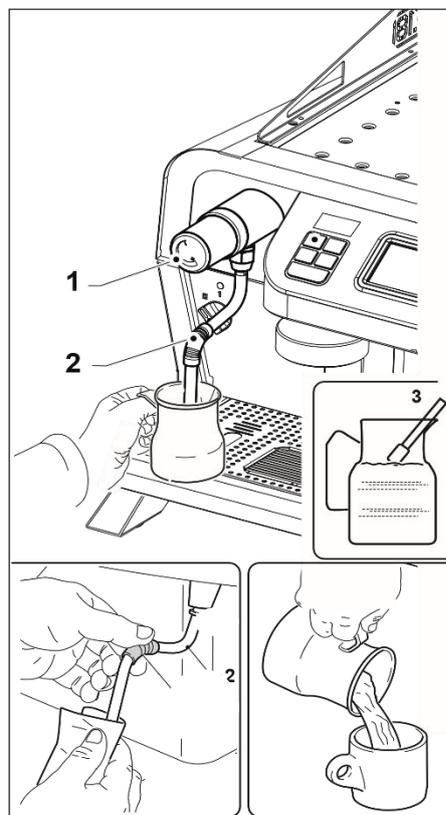
3) ピッチャーをわずかに傾け、スチームノズル (3) の注ぎ口をミルク面のちょうど下に維持します。スチームノズルがピッチャーの真ん中にきたり壁に当たったりしないようにしてください。

4) ノブ (1) を開いて、スチームの抽出を開始します。ピッチャー内に渦ができ、しっかりとしたクリーミーな泡ができます。

5) 最高温度 70°Cに達したら、ノブ (1) を閉じスチームを止めます。

6) スチームノズルをピッチャーから引き出し、ピッチャーの底をやさしく叩いて気泡を安定させます。次に、ピッチャーを軽く揺らしながら、先に準備しておいたエスプレッソに泡を注ぎます。

7) ドリンクを準備した後は、スチームを数秒間抽出してドリンクの汚れなどを取り除いてください。スチームの使用前と使用後は、ノズルを清潔な布巾できれいに拭き取ってください。布巾はスチーム用に用意したものを使用し、定期的に取り替えてください。



参考

おいしいカプチーノを作るには、先に抽出しておいたコーヒーに泡立てた新鮮なミルク (±65~70°C) を注ぎます。

注意

ノズル (2) は熱くなっていますので、火傷をしないように十分注意してください。ノズルを動かす時は、ゴムでカバーされている部分を持ってください。

8. ドリンクを温める

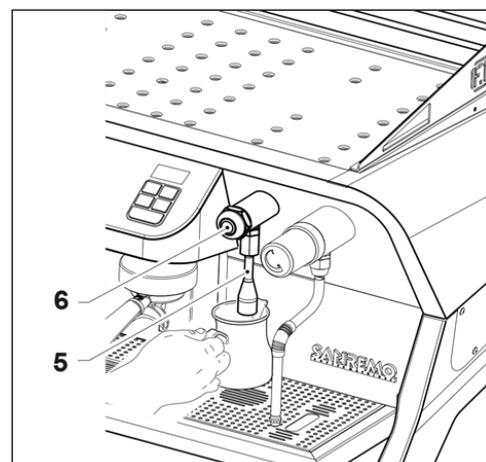
- 1) ノズル (2) をグリルの上に出し、ノブ (1) を動かして、1~2 秒間スチームノズル内の水分を排出します。
- 2) ドリンクをピッチャーに注ぎます。円錐形の注ぎ口が付いたステンレス製ピッチャーを使用してください。
- 3) スチームノズル (2) をピッチャーの中に差し込み、ノブ (1) を動かしてスチームを出します。
- 4) ドリンクが温まったら、レバー (2) を中央位置に戻してスチームを止めます。
- 5) ドリンクを準備した後は、スチームを数秒間出してドリンクの汚れなどを取り除いてください。スチームの使用前と使用後は、ノズルの周りを清潔な布巾できれに拭き取ってください。布巾はスチーム用に用意したものを使用し、定期的に取り替えてください。

注意

ノズルは熱くなっていますので、火傷をしないように十分注意してください。
ノズルを動かす時は、ゴムでカバーされている部分を持ってください。

9. ティー、カモミールティーなどを作る

- 1) ピッチャーを給湯ノズル (5) の下に置きます。
- 2) ボタン (6) を押して熱湯を抽出します。
設定時間が経過すると、熱湯が止まります。
- 3) 熱湯にお好みの製品を加えます。



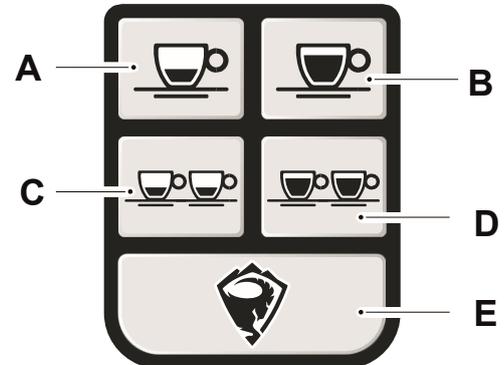
抽出条件等の設定方法(プログラム)

コーヒー抽出量のプログラミング は、タッチディスプレイ及び グループのボタン双方どちらでも可能です。

1. コーヒー抽出量のプログラミング

連続抽出に使用するボタン (E) 以外のボタンに対し
コーヒー抽出量をプログラムできます。

左側の第 1 グループで行う操作を右側のグループでも
同様に行い、抽出グループごとにコーヒー抽出量を
カスタマイズできます。



2. コーヒー抽出量のプログラミング

- 1) コーヒー粉を入れたフィルターホルダーをマシン左側のグループヘッドにセットし、カップをグループヘッドの下に置きます。
- 2) A-D ボタンが点滅するまで E ボタンを5秒以上押し続けます。
- 3) 設定モードになると、ディスプレイ上に”PROGRAMMING, PRESS KEYS IN 30 S”が表示されます。
(ボタンを押さず 30 秒経過すると、プログラミングモードが解除されます)
- 4) 30 秒以内にプログラムしたい抽出ボタン、例えば A を押します。
- 5) 抽出中はボタン A が点灯を続け、他のボタンは消灯、E ボタンは点滅します。
- 6) カップ内容コーヒーがお好みの量入ったら、A ボタンを押して抽出を停止させ、コーヒー抽出量をプログラミングします。
- 7) プログラムされると A ボタンは消灯し、他のプログラムされていないボタンが点灯します。
- 8) 同様の操作を B-D に対しても行い、夫々のボタンに対する抽出量を設定します。
- 9) ボタンを押さず 30 秒以上経過すると、プログラミングモードは解除されます。

3. 熱湯抽出量のプログラミング

- 1) コーヒー抽出量のプログラミングと同じ手順で、プログラミングモードに入ります。
- 2) ボタン (E) が点滅を始めたら、給湯ノズルのボタンを押し、熱湯を抽出させます。
- 3) お好みの量に達したところで再び給湯ノズルのボタンを押し、抽出を止めます。
- 4) ボタンを押さず 30 秒以上経過すると、プログラミングモードは解除されます。

4. ディスプレイからのプログラミング

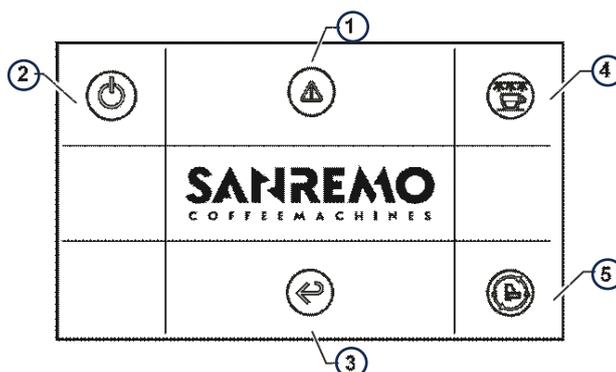
プログラミングページにアクセスするには、ディスプレイのボタン  5秒長押しします。

次の画面が表示されます。



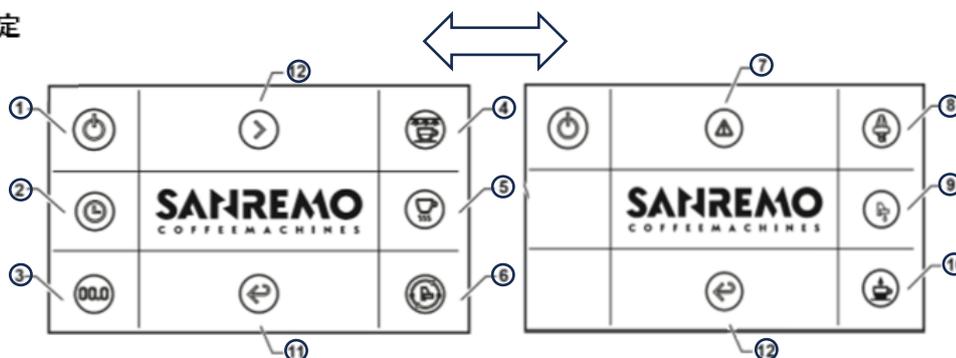
各ボタンの機能は以下の通りです。

- ① アラームリスト
- ② マシンの ON/OFF
- ③ メニュー終了
- ④ フロントライト
- ⑤ グループヘッドのクリーニングサイクル



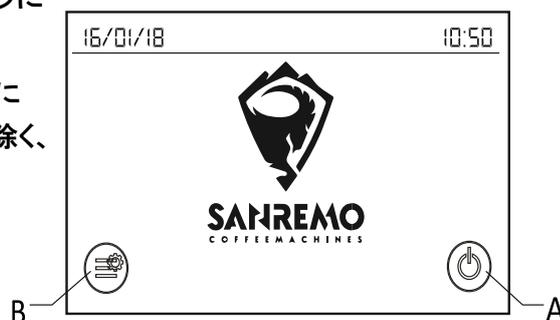
※上記の既定の画面ではコーヒー温度や蒸らし、分量の微調整はできません。下記 5) パスワードの画面で「22222」を入力すると以下のプロフェッショナル画面になり、これらの入力が行えるようになります。

- ① マシンの ON/OFF
- ② 自動オン、自動オフ、休日の設定
- ③ カウンタ表示
- ④ フロントライト
- ⑤ カップウォーマーの設定
- ⑥ グループヘッドのクリーニングサイクル
- ⑦ アラームリスト
- ⑧ コーヒー温度の設定
- ⑨ プレインフュージョン設定
- ⑩ 分量の微調整
- ⑪ メニュー終了
- ⑫ 前のページ/次のページに移動



プログラミング方法

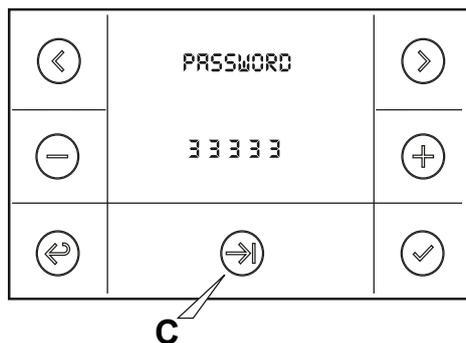
- 1) ボタン ②(プロフェッショナル画面では①) を押すとマシンがオフになり、右画面が表示されます。
- 2) 画面には日付と時刻が表示されます。この場合のマシンはオフになっていますが、電源は入ってる状態です。自動オンの機能を除く、全ての抽出グループと機能を使用できません。
- 3) ボタン (A) を押すとマシンがオンになります。ボタン (B) を押すと、一般プログラミングメニューにアクセスします。メニューに入るにはパスワードが必要です。



4) ディスプレイには右の画面が表示されます。

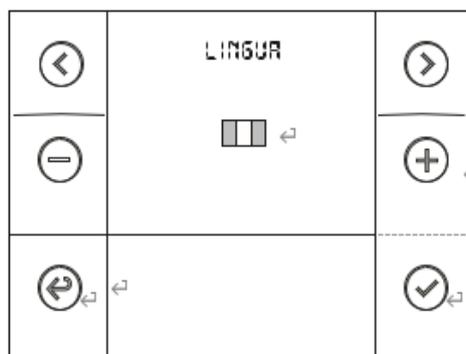
5) ボタン (C) を押し、「+」と「-」ボタンで数値を変更します。
パスワード「3 3 3 3 3」を入力し、「✓」ボタンを押して選
択を決定します。

6) 一般プログラミングメニューからは、以下の設定を変更す
ることができます。



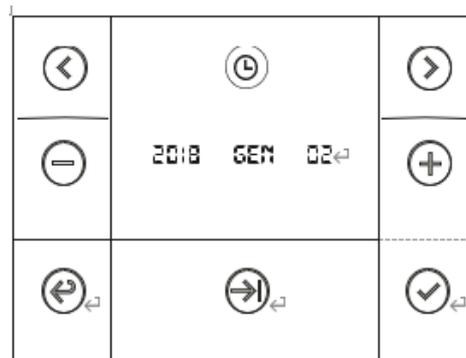
・言語

「+」「-」ボタンを押して言語を選択し、「✓」ボタンを押して
決定します。「>」ボタンで次の設定に進むか、「←」ボタ
ンでプログラミングページに戻ります。



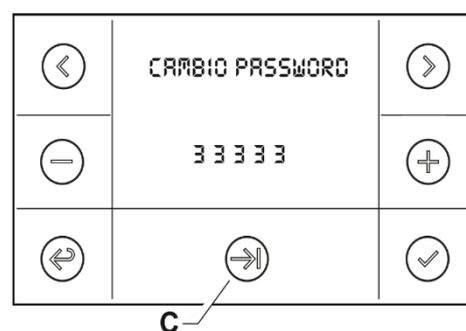
・日付と時刻

「+」と「-」ボタンで日付を設定します。
「>」ボタンを押して時計を変更します。
「>」ボタンで次の設定に進むか、「←」ボタンでプログラミング
ページに戻ります。



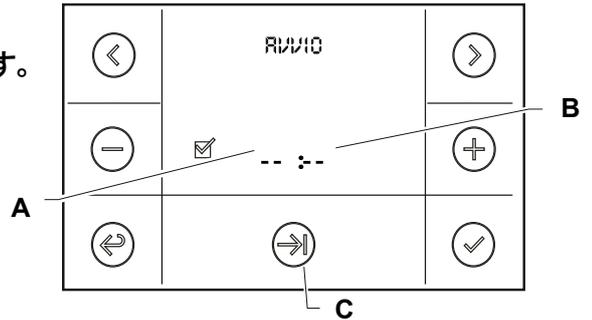
・パスワードの変更

一般プログラミングメニューにアクセスするパスワードを
変更することができます。
ボタン (C) を押し、「+」と「-」ボタンで数値を変更します。
「✓」ボタンを押して決定します。
「←」ボタンでプログラミングページに戻ります。



7) 自動オン、自動オフ、休日の設定

ボタン (2) を押します。ディスプレイに右の画面が表示されます。画面には「時」(A) と「分」(B) が表示されます。「+」か「-」ボタンで数値を変更してボタン (C) を押すと、変更した数値が決定されて「分」の設定に移ります。「分」を設定してから、「✓」ボタンを押して自動オン時間を決定します。



「>」ボタンを押すと次の画面に移り、自動オフを設定できます。

なお、自動オン機能をオフにする場合は時刻の値を「-:-」と設定してください。

自動オンは、時刻設定を行い、且つ電源スイッチが「2」の位置にある場合に自動オンの動作をします。

休日を設定するには、「+」か「-」ボタンで曜日表示します。

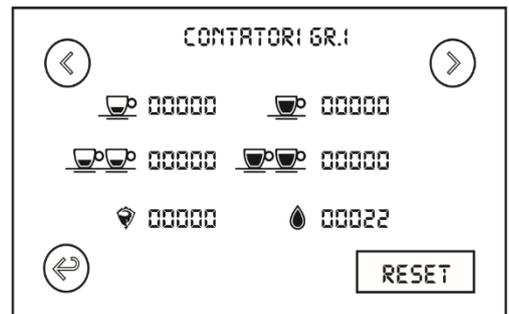
休日を設定してから「✓」ボタンで決定し、「←」ボタンでプログラミングのメイン画面に戻ります。

8) カウンタ表示

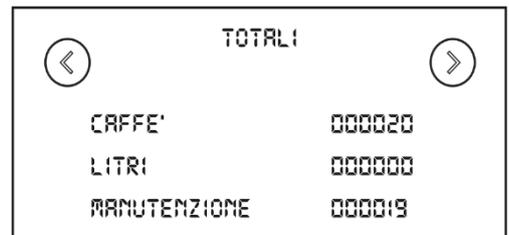
ボタン (3) を押すと次の画面が表示されます。

「<」か「>」ボタンを押すと、カウンタ表示メニューをスクロールします。グループ「1」からスタートして、各分量ごと(ロングブラック、エスプレッソなど)のコーヒー抽出量が順番に表示されます。

「←」ボタンでこの画面を終了し、プログラミングのメイン画面に戻ります。



※ 各グループのカウンタをリセットするには「RESET」ボタンを押します。

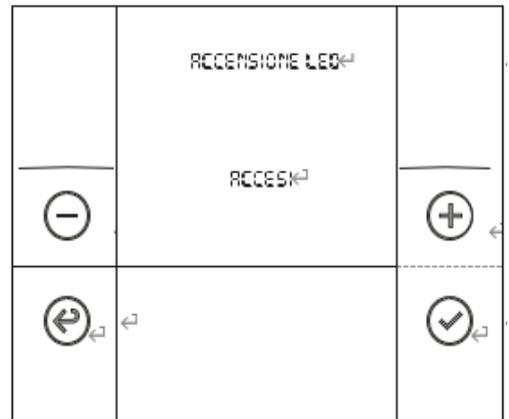


9) フロントライトボタン

ボタン (4) を押すと右の画面が表示されます。

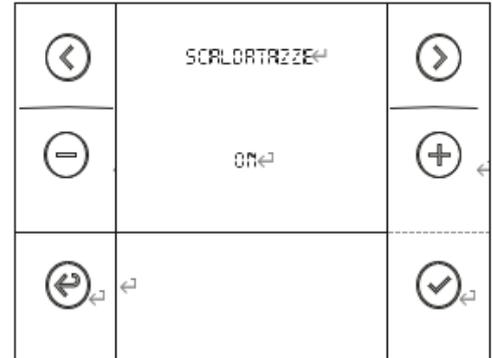
「+」か「-」ボタンを押してフロントライトのオン/オフを設定し、「✓」ボタンで設定を決定します。

「←」ボタンを押すと、プログラミングページに戻ります。



10) カップウォーマーの設定

ボタン (5) を押してカップウォーマーのオン/オフを設定します。ボタンを押すと右の画面が表示されます。
 「+」か「-」ボタンでカップウォーマーのヒーターエレメントのオン/オフを設定できます。「✓」ボタンで設定を決定します。
 カップウォーマーの温度を変更するには「>」ボタンを押し、「✓」ボタンで決定します。
 「←」ボタンでプログラミングページに戻ります。



11) 抽出グループのクリーニング

ボタン (6) を押すと、全抽出グループの同時自動クリーニングがスタートします。

12) アラームリスト

ボタン (7) を押すと現在アクティブなアラームのリストが表示され、設定されている場合はテクニカルサポートの電話番号が表示されます。

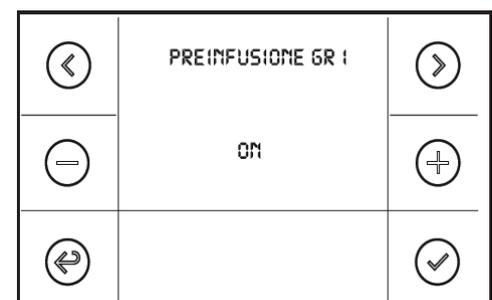
13) コーヒー湯温設定

ボタン (8) を押すと右の画面が表示されます。
 画面上側に選択されているグループが表示されます。
 「+」か「-」ボタンで温度を変更し、「✓」ボタンで決定します。
 次のグループの温度設定に移るには、「>」ボタンを押して次の画面に移動します。
 「←」ボタンを押すと、プログラミングのメイン画面に戻ります



14) プレインフュージョンのプログラミング

ボタン (9) を押すと次の画面が表示されます。
 「+」か「-」ボタンを押して、プレインフュージョン機能を有効または無効に設定することができます。「✓」ボタンで決定します。

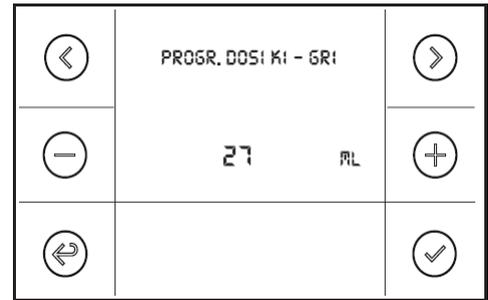


プレインフュージョンが有効な時は、右のような画面が表示されます。
 「+」か「-」ボタンを押して、全てのボタンのプレインフュージョン時間を変更できます。「✓」ボタンで決定します。
 「←」ボタンを押して、プログラミングのメイン画面に戻ります。



15) 分量の微調整

ボタン (10) を押すと右の画面が表示されます。
画面には選択されている分量に対する設定コーヒー量(ml)が表示されます。「+」か「-」ボタンを押して数値を変更します。「✓」ボタンで決定し、「>」ボタンを押して次の分量に対する設定を行います。「←」ボタンを押して、プログラミングのメイン画面に戻ります。



16) プログラミングの終了

ボタン (11) を押すと、プログラミングステージが終了してメイン画面に戻ります。前のページ/次のページに移動ボタン (12) を押すと、プログラミングページが切り替わります。

5. グループ温度表示の ON/OFF

各グループの温度表示オン/オフを設定することができます。
グループの温度表示をオフにする場合は、その抽出グループのボタン (E) とボタン (C) を同時に押します。グループの温度表示がオフの時は、以下のような画面が表示されます。

グループディスプレイ



表示を再びオンにするには、もう一度ボタン(E)とボタン(C)を同時に押します。

6. アラームについて

1) コーヒー/お湯がグループヘッドから抽出されない

グループヘッドがコーヒーや水(フィルターホルダーを外した状態)を抽出しない場合は、選択したボタンが点滅してアラームの発生を知らせます。

2) マシンのスタンバイ状態

マシンがスタンバイモードに入ると、ディスプレイが消えて左から1番目のグループのボタン (C) が点滅します。ボタン (C) を押すと、マシンがスタンバイモードを終了して起動します。

3) 給水アラーム

ボイラーへの給水に問題が生じた場合は、給水開始から 120 秒後にアラームが発生し、ディスプレイの水位目盛りが点滅します。

アラームを解除するには、マシンの電源を切り、給水回路を点検してください。給水が正常に戻ると、マシンのアラームは自動的に解除されます。

クリーニング

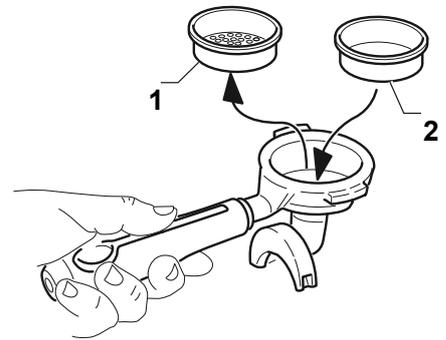
- ・マシンの清掃に高圧洗浄機は使用しないでください。
- ・マシンの清掃にアルコールやアンモニアを含む洗剤、研磨スポンジを使用しないでください。
- ・洗剤を使用する場合はコーヒーマシン用や食器洗い用を使用してください。

◆ 日々のメンテナンス

毎日のマシンの使用後に実施してください。

1) グループヘッド自動洗浄

2本のフィルターホルダーを準備しフィルター (1) を外し、ブラインドフィルター (2) を取り付けます。ブラインドフィルター内にコーヒーマシン用洗剤を1錠入れます。



マシンそれぞれの抽出口にフィルターホルダーを再び取り付け、それぞれの抽出ボタンにてボタン (E) を押しながらボタン (A) を押します。洗浄サイクルが自動的にスタートし、ボタン (A) とボタン (E) が点滅します。



洗浄が終わると、ボタン (A) とボタン (E) が消えます。

自動洗浄を中断する場合は A～E の何れかのボタンを押します。

フィルターホルダーを外し、ブラインドフィルター内の汚れを流水でよく洗います。

次にフィルターをグループヘッドに再び取り付け、ブラインドフィルターに洗剤を入れずに洗浄を繰り返します。これですすぎが行われます。

すすぎが終了したら、フィルターホルダーを外します。ブラインドフィルターから通常のフィルターに戻し、コーヒー1杯分を抽出して洗剤が残って味に影響しないことを確認します。

注意

腐食性や研磨性のある洗剤は絶対に使用しないでください。コーヒーマシンや食器洗い専用の洗剤のみを使用してください。マシンの掃除には絶対に高圧洗浄機を使用しないでください。故障の原因になります。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全の為ゴム手袋や保護メガネの着用をしてください。

・フィルターおよびフィルターホルダー

フィルターホルダーを取り外し、中身を空にしてください。

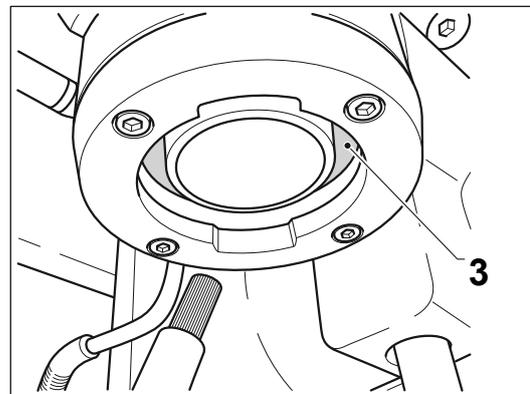
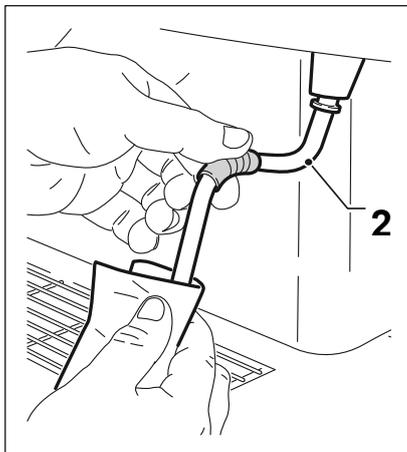
フィルターをホルダーから外し、流水で流した後、専用の洗剤をいれた容器にしばらく浸してください。

フィルターホルダーのハンドル部分は洗剤に浸けないでください。特に材質が木のものは変質したりひび割れたりするため絶対に洗剤には浸けないでください。



ハンドル部は洗剤に浸けない
フィルター部分のみ浸ける

- ・スチームノズル (2) にミルクや水垢が付いていないことを確認し、必要であれば専用の洗剤できれいに清掃します。また、きれいな布でグループヘッドの底側をきれいに掃除し、柔らかいブラシでガスケット (3) の汚れを落とします。



- ・カップ置きグリルや排水グリルは取り外し、洗剤を使用して洗い、流水でしっかりとすすぎます。洗浄後柔らかい布で水気をよく拭き取ってから取り付けてください。

- ・マシンの外側を湿らせた布で拭いてきれいにします。

トラブルシューティング

以下の確認を行い、障害が復旧しない場合はサービスセンターにお問い合わせください。

問題	原因	処置
ボイラー水位表示が点滅する	水道栓または浄軟水フィルターの栓が閉じている	栓を開けてください。
	ボイラー充填の不具合	電源スイッチを押して 5 秒以上電源を落とし、もう一度スイッチを押して電源を入れてください。
お湯がグループヘッドから抽出されない、出が悪い	水道栓または浄軟水フィルターの栓が閉じている	栓を開けてください。
	フィルターストレーナーが目詰まりしている	汚れを落としてください
	浄軟水フィルターの詰まり	浄軟水カートリッジを交換してください
水が加熱されない	ヒーターエレメントが焼けてしまった	サービスセンターに連絡してください
	温度センサーの故障	サービスセンターに連絡してください
給水が止まらない(水位表示が点滅する)	水位センサーの故障	元栓をしめた上でサービスセンターに連絡してください
コーヒーが一定の分量で抽出されない	容積測定ユニットの故障	サービスセンターに連絡してください
栓を閉じていてもスチームノズルから漏れる	ガスケットの破損	サービスセンターに連絡してください
栓を開けると、ノブの下からスチームが漏れている	栓のスピンドルガスケットの破損	サービスセンターに連絡してください
コーヒーがフィルターホルダーから漏れる	コーヒー豆の挽き目が適切でない(細かすぎるか粗すぎる)	サービスセンターに連絡してください
	シャワースクリーンとフィルターが部分的に詰まっている	抽出時間を点検し、コーヒー豆の挽き目を調節してください
	グループヘッドガスケットの摩耗	ガスケットを注文交換してください 型番はサービスセンターにお尋ね下さい

抽出時にグループヘッドとフィルターホルダーの間からコーヒーが漏れる	グループヘッドガスケットの故障、またはフィルターエッジがずれている	ガスケットを注文交換してください 型番はサービスセンターにお尋ね下さい
フィルターホルダーの端からコーヒーが漏れる	フィルターホルダー取り付け位置に汚れが溜まっているため、コーヒーが抽出口から流れない	きれいに掃除してください
	グループヘッドガスケットの摩耗	ガスケットを注文交換してください 型番はサービスセンターにお尋ね下さい
	シャワースクリーンの詰まり	きれいにするか交換してください
コーヒーの温度が低すぎる	設定温度に達していない	設定温度に達するまでお待ちください
熱湯が出ない	給水栓が閉じている	栓を開けてください。
	抽出電磁弁の故障	サービスセンターに連絡してください
	抽出回路の詰まり	サービスセンターに連絡し、スケール除去を依頼してください
コーヒーの抽出が遅すぎる、または全く抽出されない	給水が十分でない	給水ラインを点検してください
	フィルターホルダーの抽出穴が詰まっている	専用の洗剤か爪楊枝を使用してフィルターホルダーを水に掃除してください。
	コーヒー豆の挽き目が細かすぎる	グラインダー/ドサーの調節してください
スチームが出ない	ノズルが詰まっている	ミルククリーナーを使用し掃除してください
	抽出回路の詰まり	サービスセンターに連絡し、スケール除去を依頼してください
	スチーム栓の故障	サービスセンターに連絡してください

×E

×E

×毛

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間:365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 SANREMO F18 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書(業務用マシン)

型 名	F 1 8
シリアル番号	
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お 客 様	お 名 前
	住 所
	〒 電話()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマテック保証サービス(以下「本保証」といいます。)は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマテックジャパン株式会社(以下「ブルーマテック」といいます)がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品(以下「本製品」といいます。)について、「保証サービス規程」(以下「本規程」といいます。))に定めるところに従い、無償修理(以下「保証修理」といいます。)を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障(以下「自然故障」といいます。)を対象とします。

2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。(以下、この期間を「保証期間」といいます。)。保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマテックより交換品(新品)が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。(以下、「上限金額」といいます。)なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマテックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマテックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマテックコールセンター(下記記載)に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマテックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマテックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報(製品情報及び個人情報)の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書(必要情報が記載されております。)の保管・管理に十分ご注意くださいませうお願いします。

2. ブルーマテックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。

3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマテックコールセンターまでご連絡ください。ご連絡いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご連絡いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合、本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマテックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマテックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマテックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。

5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その“利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。））に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマテックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマテックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損害。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損害（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等）の外部要因事由に起因する故障及び損害。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、バックリング、ガスケット、電池、等ブルーマテックジャンプが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損害。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損害。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態を確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマテックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損害。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事象に起因する故障及び損害。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマテックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時までに発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマテックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマテックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマテックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマテックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマテックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマテックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマテックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマテックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社
本社: 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22
<http://www.brewmatic.co.jp/>

